豊田工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	保健体育ＶＡ

科目基礎情報

科目番号	05102	科目区分	一般 / 選択必修（体）
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気・電子システム工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	「ACTIVE SPORTS」（大修館書店）／プリント　ビデオ教材		
担当教員	伊藤 道郎,髙津 浩彰,加藤 貴英,近藤 雅哉		

到達目標

(ア)生涯スポーツについての位置付けを理解し積極的に運動を実践することができる。
(イ)練習やゲームを自ら計画し、実践することが出来る。
(ウ)各種目の特性を理解し、それに応じた練習が出来る。
(エ)自己の体力に応じた運動の量と質を自ら設定できる。
(オ)一定の運動量を獲得し、基礎体力を高める。
(カ)自他の健康・安全にも留意して学習が進められる。
(キ)集団での戦術を理解し、実践することができる。
(ク)個人での戦術を理解し、実践することができる。
(ケ)自らの体力レベルを理解し、体力目標を設定し、目標達成の為に積極的に努力することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目１	数人でグループを作り、決められたグループ内のメンバーで協力してスポーツテストが実施できる。	グループ内のメンバーと協力してスポーツテストが実施できる。	グループ内のメンバーと協力してスポーツテストが実施できない。
評価項目２	数人でグループを作り、決められたグループ内のメンバーで協力して様々な競技種目が実施できる。	グループ内のメンバーと協力して様々な競技種目が実施できる。	グループ内のメンバーと協力して様々な競技種目が実施できない。
評価項目３	各種目の特性を理解し、それに応じた実践ができる。	各種目の特性を理解できる。	各種目の特性を理解できない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 E-5 社会における技術者の役割および技術と人類の豊かさとの関係を理解している.
JABEE a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
本校教育目標 ⑤ 技術者倫理

教育方法等

概要	スポーツテストを実施することで自分の体力レベルを把握する。健康的な社会生活を送るためのスポーツの重要性を認識するとともに，生涯にわたってスポーツを楽しむための基盤を身に付ける。既習の球技系種目について，競技規則を十分に理解し，互いの安全を確保しながら，自主的かつ協力し合って練習計画と試合運営ができるように学ぶ。
授業の進め方・方法	
注意点	ジャージを着用し、使用施設にあったシューズを使用する。ピアス、指輪、ネックレス等は外すこと。携帯電話・スマートフォンは授業中に扱わないこと。爪は切っておくこと。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンスおよびスポーツテスト（握力，長座体前屈，上体起こし，反復横跳び）	握力，長座体前屈，上体起こし，反復横跳びの測定を実施することができる。
		2週	ガイダンスおよびスポーツテスト（50m走，立ち幅跳び，ハンドボール投げ）	50m走，立ち幅跳び，ハンドボール投げの測定を実施することができる。
		3週	ガイダンスおよびスポーツテスト（シャトルラン）	シャトルランの測定を実施することができる。
		4週	ソフトボール　（7人制、10人制、9人制）	グループメンバーと協力してソフトボールの練習ができる。
		5週	ソフトボール　（7人制、10人制、9人制）	グループメンバーと協力してソフトボールの試合ができる。
		6週	テニス　（シングルス，ダブルス）	グループメンバーと協力してテニスの練習ができる。
		7週	テニス　（シングルス，ダブルス）	グループメンバーと協力してテニスの試合ができる。
		8週	バレーボール　（6人制）	グループメンバーと協力してバレーボールの練習ができる。
	2ndQ	9週	バレーボール　（6人制）	グループメンバーと協力してバレーボールの試合ができる。
		10週	卓球　（シングルス，ダブルス）	グループメンバーと協力して卓球の練習ができる。
		11週	卓球　（シングルス，ダブルス）	グループメンバーと協力して卓球の試合ができる。
		12週	バスケットボール　（3on3のゲーム，5vs5のゲーム）	グループメンバーと協力してバスケットボールの練習ができる。
		13週	バスケットボール　（3on3のゲーム，5vs5のゲーム）	グループメンバーと協力してバスケットボールの試合ができる。
		14週	バドミントン（シングルス，ダブルス）	グループメンバーと協力してバドミントンの練習ができる。
		15週	バドミントン（シングルス，ダブルス）	グループメンバーと協力してバドミントンの試合ができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	スポーツテスト	実技課題	合計
総合評価割合	20	80	100
基礎的能力	20	80	100